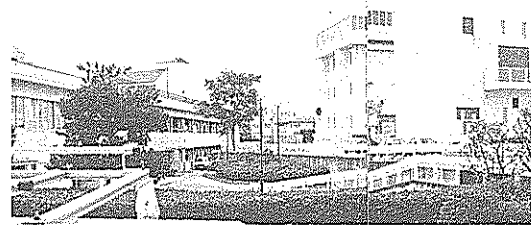


住みよい街づくり



集中させたのか、問題はないのか。都市計画の上でこのような形になったのかも知れませんが、現に廃棄物処理施設と近隣の市民生活がそれほど違和感なく共存している事実は、環境や景観にどこよりも気を使っている街だけに関心を引きます。また、これらの施設を集めて立地していることは、合理的な土地利用や施設の機能面での相互補完も可能となり、たいへん

先進地を視察して

前回廃棄物処理、特にし尿処理に関する問題点を
取り上げました。

それでは現在他の自治体はどのような施設で廃棄物の処理を行っているのか、その施設が周辺の住民にどのように見られているのかを紹介し、南国市の新しい処理場像について考えてみたいと思います。

木かけて昼食をとる家族連れ
（高知市東部環境センター）



潔度においてはまったくありません。日曜日や休日には大勢の市民が隣接のスポーツゾーンで汗を流しており、昼食時には施設のすぐ脇の木立の下でお弁当を開いている風景も見かけられます。

倉敷とは違う形ですが、ここでも市民と廃棄物処理施設の共存の姿がみられます。高知市の担当職員は、「造るまでは心理的な抵抗がありなかなか理解をしていただけない施設も、実際施設ができてみればそれほど嫌悪するようなも

さて、隣の高知市。昭和五十九
 ターをオープンさせました。放流
 水は水道水に近い水質で、農業用
 水の一部として利用する一方、場
 内の洗車や水洗便所、散水など中
 水道として利用しています。もち
 ろん臭気や騒音、ばい塵について
 も充分な対策を講じています。見
 学者には場内を案内してくれます
 が、施設周辺はもちろん場内も諸

倉敷とは違う形ですが、ここでも市民と廃棄物処理施設の共存の姿がみられます。高知市の担当職員は、「造るまでは心理的な抵抗がありなかなか理解をしていただけない施設も、実際施設ができてみればそれほど嫌悪するようなものではない、今では地元と何の問題もありません」と話しています。かつてし尿処理行政に問題をかかえていた高知市も、地元の理解と協力によって念願の長期安定処理体制を確立しました。

さて、南国市の新施設についての計画はどうなっているのでしょうか。

市民が納得する立地を

一番の問題はどこに立地するかであり、市民の最も関心があることとです。

市としては廃棄物処理施設、なかでもし尿処理施設に関する実態を正しく理解していただくため関係資料や情報を機会あるごとに公

開し、市民の理解を得たいと考えています。

特に施設立地場所の選定については、自然環境の条件、社会生活条件、土木工学的条件等はもちろん、収束運搬の効率と安全性、経済性（設置・運転コスト）、下流域

市民とともに



のを導入し、放流水の水質についてはもちろん厚生省の基準を達成施設の外觀は周辺と違和感がないものとし、関係車両の出入りなど交通対策についても万全を期すようにします。環境影響対策は確実に、公害を出さないことを約束します。

黒滝に処理場を受け入れてくださった関係地区の皆さんに深く感謝するとともに、新施設を建設するまでの間、今しばらく放流水の地下浸透をお願いします。

また、科学的な調査で立地に最適であるという結果の出た地区の皆さんにも、できる限り要望を伺って進めていきたいと思っておりますので、ぜひ受け入れに理解し、協力していただきたいと思います。

過去の取り組み方の反省の上に

の利水状況、都市開発、都市発展との関係、災害時の安全性等々との調査を専門コンサルタントによって実施し、比較総合評価のうえ最も条件のよい地点に最も良い機種を選定し導入していきます。

なかでも環境アセスメント（環境影響評価）は、立地場所選定の必須条件ですので、念入りに実施し市民の不安に應える考えです。

もちろん関係地域には充分説明し納得していただくのは当然のこと。市の担当課では、今精力的に準備を進めています。

住みよい環境都市を

目指して

市長は今年の三月議会の市政方針の中で廃棄物処理の問題を取り上げ、早期建設に取り組むことを述べました。

このことに対する市執行部の決意を廃棄物処理担当の助役は次のように話しています。

し尿処理場については、現在立地調査などの取り組みを進めています。新施設については最新のものを導入し、放流水の水質についてももちろん厚生省の基準を達成施設の外観は周辺と違和感がないものとし、関係車両の出入りなど交通対策についても万全を期すようにします。環境影響対策は確実に、公害を出さないことをお約束します。

黒滝に処理場を受け入れてくださった関係地区の皆さんに深く感謝するとともに、新施設を建設するまでの間、今しばらく放流水の地下浸透をお願いします。

また、科学的な調査で立地に最適であるという結果の出た地区の皆さんにも、できる限り要望を伺って進めていきたいと思っておりますので、ぜひ受け入れに理解し、協力していただきたいと思います。

過去の取り組み方の反省の上に

不可欠な市民の理解

これまで述べてきたように、不燃物は六十六年まで、し尿は六十七年まで従来の施設を使用する必要があるありますが、それには市民の皆さんの理解と協力が必要であることは言うまでもありません。

一人一人が気をつければかなり

効果が上がるのがごみの減量化。できるだけ不用品を出さず、家庭で処理できるものは処理してください。現在収集できずにご迷惑をかけている粗大ごみについては、引き続き新施設稼働まで協力をお願いします。

廃棄物処理は市民の暮らしを底
辺で支える大変身近な問題。もし
何かの都合で停滞があれば、た
ち私たちの平穏な日常生活は破
綻します。

厄介な廃棄物であるが故に、これを処理することの重要性、特に施設を整備し、そしてこの仕事に従事する人たちがいるからこそ私たちの快適な生活は維持されている、そんなことを時には考えてみたいものです。

ともすれば心理的な嫌悪感が先行しがちですが、また一方で冷静で科学的な目で見対することの重要性を、また行政は行政として一貫した取り組みの重要性を、過去の南州市の環境行政の歴史は教えているようです。

揺るぎない確固とした廃棄物処理体制を確立するため、執行部、議会、市民それぞれの努力が求められています。